

Monthly NewsLetter

from Bunsei Shoin
(October 2025)

表示価格は税別です

文生書院

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-14-7

Tel (03) 3811-1683

Fax (03) 3811-0296

e-mail: info@bunsei.co.jp

<http://www.bunsei.co.jp/>



Bunsei Shoin
Booksellers, Co., Ltd.

14-7, Hongo 6 Chome, Bunkyo-ku, Tokyo, Japan. 113-0033

Telephone: +(81-3) 3811-1683

Fax: +(81-3) 3811-0296

e-mail: info@bunsei.co.jp

文生書院：PDFニュースレター 2025年10月号

1] 三井造船株式会社関連パノラマ写真4点

Four Panoramic Photographs Related to Mitsui Shipbuilding Co., Ltd

¥ 250,000-

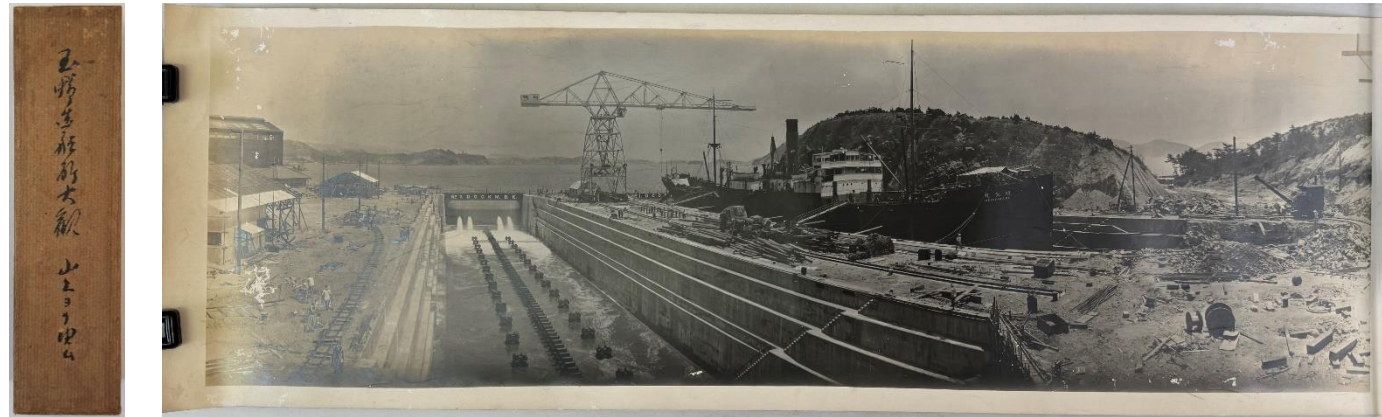
三井造船部倶楽部に来場した団男爵〔団琢磨〕一行

昭和 6 年 20.5×90.5cm (箱のサイズ:22.4×5.8cm)



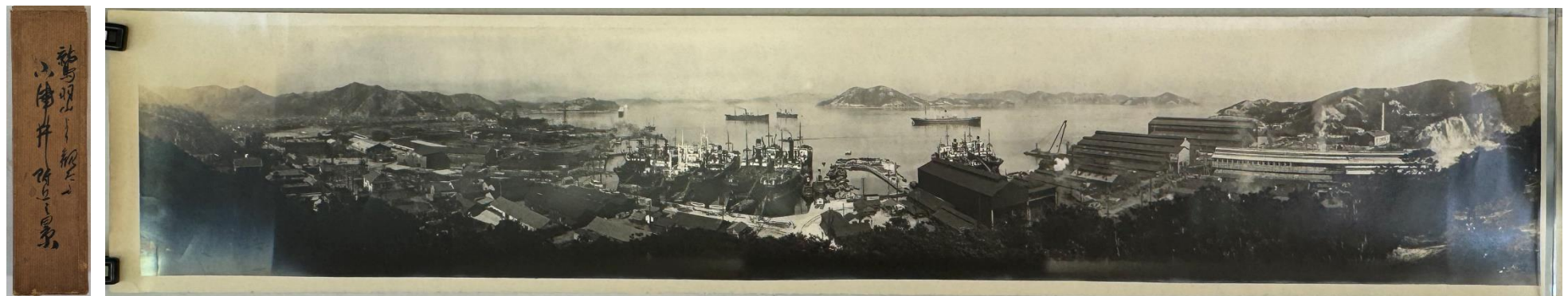
玉野造船所大観

20.5×105cm (箱のサイズ:22.4×5.8cm)



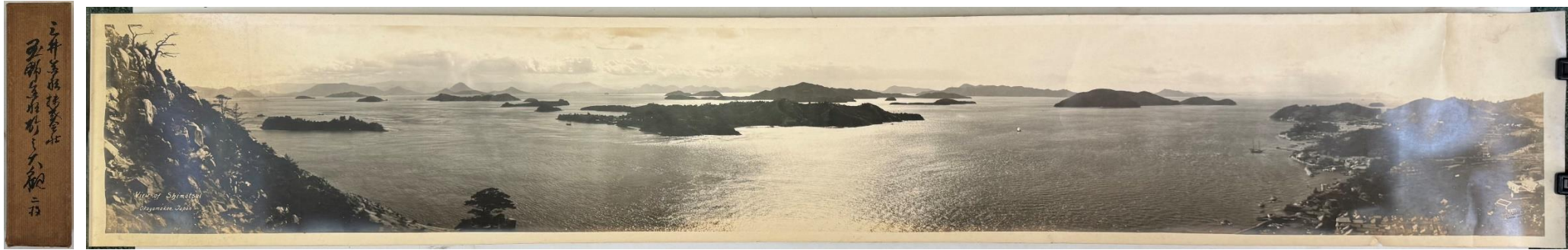
鷺羽山より観たる下津井附近ノ景

20.5×63.5cm (箱のサイズ:22.4×5.8cm)



三井造船株式会社玉野造船所之大観〔下津井〕

20.5×129cm（箱のサイズ:22.4×5.8cm）



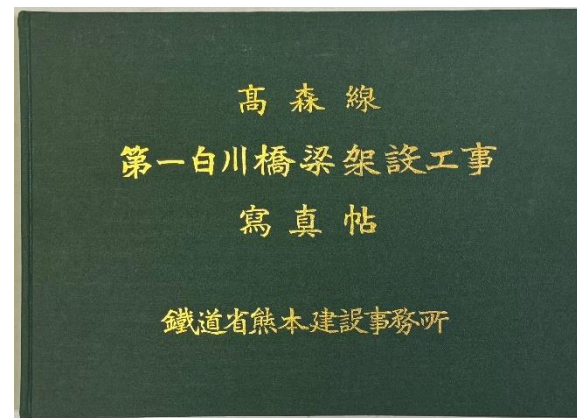
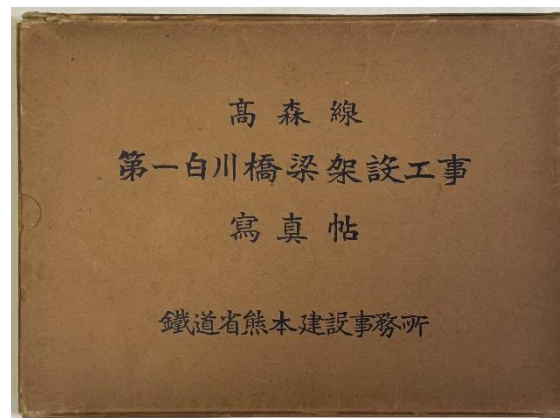
昭和初期の三井造船に関わるパノラマ写真4点。最初の写真は団琢磨（三井合名会社理事長／のち1932年に血盟団事件で暗殺）らが三井造船部倶楽部を訪れた際（昭和6年）の集合写真、残りの3点は玉野造船所および下津井一帯の全景。三井の造船事業は1917年に旧三井物産の造船部として玉野で創業し（のち玉造船所→1942年に三井造船へ改称）、1924年には日本初のディーゼル主機商船「赤城山丸」を建造するなど技術化を進めた。写真群は、瀬戸内沿岸の立地と一体で拡張した玉野造船所のスケール、工場配置、海上輸送・起重機など施設の実態、ならびに財閥首脳の現場視察という企業活動の一端を同時に示す一次資料である。撮影年次と人物が明確な写真を軸に、昭和初頭における三井造船の組織体制と事業拡張の局面を読み取ることができる。また、迎賓施設・福利施設として三井造船玉野工場に設けられたクラブ建築が写真中に写り込んでおり、団琢磨らの訪問写真がその施設利用の一場面を示す可能性がある。

2] 高森線第一白川橋梁架設工事写真帖

Photographic Album of the Shirakawa Bridge Construction on the Takamori Line

鐵道省熊本建設事務所 昭和2年 73p B5 【印】

¥ 50,000-

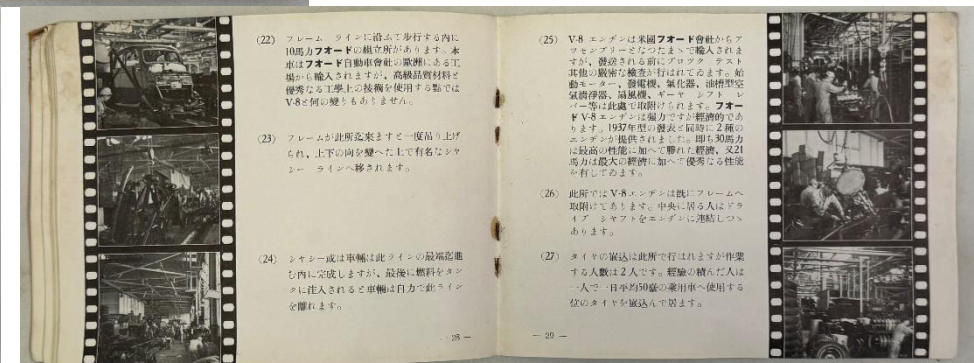
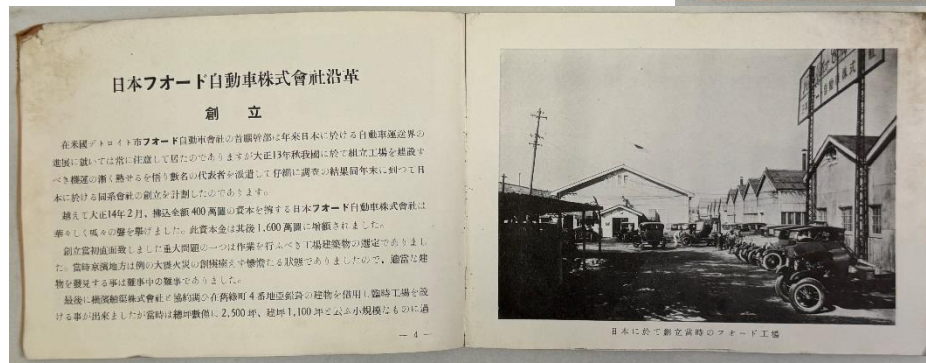
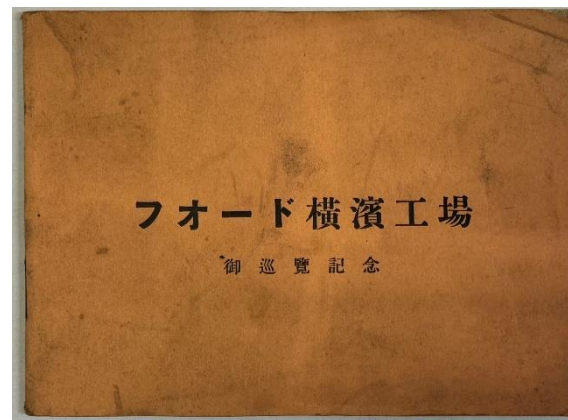


3] フォード横浜工場 御巡覧記念

Commemorative Album of the Imperial Visit to the Ford Yokohama Factory

日本フォード自動車株式会社 昭和 12 年 53p 11.3×15.3cm 【少汚 少イタミ】

¥ 10,000-

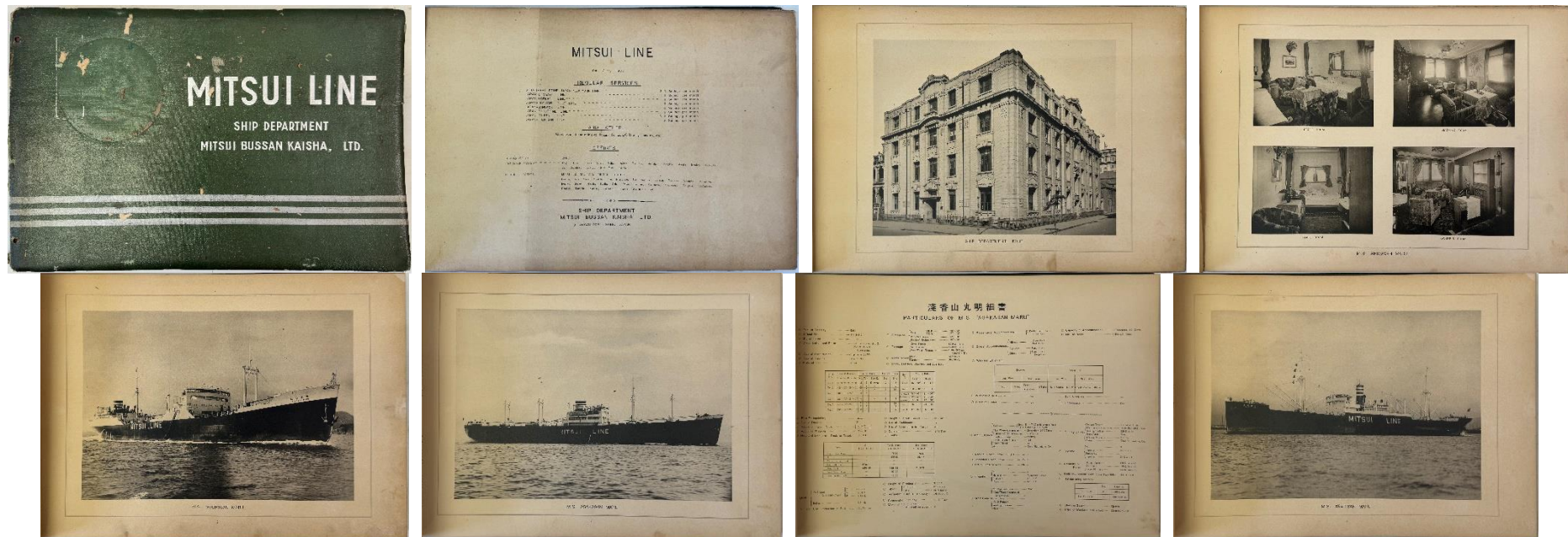


4] MITSUI LINE [Oct. 31st., 1938]

(三井物産船舶部資料)

SHIP DEPARTMENT MITSUI BUSSAN KAISHA, LTD. 三井物産 1938 年 31×47cm 【少イタミ】

¥ 80,000-



5] MITSUI LINE 1 9 5 2

(三井物産船舶部資料)

三井船舶株式会社業務部調査課 昭和 27 年 31.2×44cm シリアル No.495 番 【少シミ】

¥ 35,000-

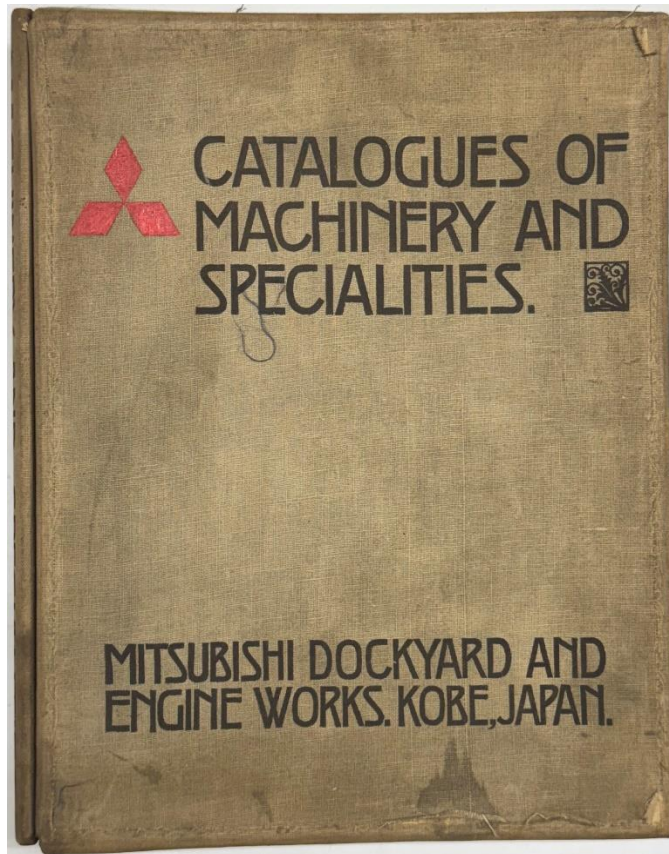


6] CATALOGUES OF MACHINERY AND SPECIALITIES

(三菱神戸造船所機械・特殊装置カタログ集)

MITSUBISHI DOCKYARD AND ENGINE WORKS.KOBE,JAPAN. 大正 5~10 年 32×25cm

¥ 150,000-





DYNAMO ENGINES SECTION A

KOBE WORKS, MITSUBISHI ZOSEN KAISHA, LTD. (EX-MITSUBISHI DOCKYARD & ENGINE WORKS, KOBE.) / JAPAN 1920 年 11p

TURBINE PUMPS SECTION,B

 MITSUBISHI DOCKYARD AND ENGINE WORKS／KOBE,JAPAN. 1916 年 12p

TRACK PUMPS SECTION,C

 MITSUBISHI DOCKYARD AND ENGINE WORKS／KOBE,JAPAN. 1916 年 10p

TRACK PUMPS SECTION,C

 MITSUBISHI DOCKYARD AND ENGINE WORKS (EX-MITSUBISHI DOCKYARD & ENGINE WORKS,KOBE.) ／JAPAN. 1921 年 10p

ELECTRIC HOISTS SECTION,D

 MITSUBISHI DOCKYARD AND ENGINE WORKS／KOBE,JAPAN. 1916 年 11p

ELECTRIC HOISTS SECTION,D

 MITSUBISHI DOCKYARD AND ENGINE WORKS (EX-MITSUBISHI DOCKYARD & ENGINE WORKS,KOBE.) ／JAPAN. 1921 年 13p

SIMPLEX PUMP "MIKI'S PATEMT" SECTION,E

 MITSUBISHI DOCKYARD AND ENGINE WORKS／KOBE,JAPAN. 1917 年 19p

WATER TUBE BOILER MIKI'S TYPE SECTION,F

 KOBE WORKS,MITSUBISHI Zosen Kaisha,LTD. (Ex MITSUBISHI DOCKYARD & ENGINE WORKS,KOBE.) ／1917 年 18p

WEIR AUXILIARY MACHINERY SECTION I.

 KOBE WORKS,MITSUBISHI Zosen Kaisha,LTD. (Ex MITSUBISHI DOCKYARD & ENGINE WORKS,KOBE.) ／1917 年 24p

GENERAL CATALOGUE

 MITSUBISHI DOCKYARD AND ENGINE WORKS／KOBE,JAPAN. 1917 年

GENERAL CATALOGUE

 KOBE WORKS,MITSUBISHI Zosen Kaisha,LTD. (Ex MITSUBISHI DOCKYARD & ENGINE WORKS,KOBE.) ／KOBE,JAPAN. 1920 年
SHIPBUILDERS,ENGINE & BOILER MAKERS,ELECTRICIANS,etc.,etc.

 THE MITSUBISHI Zosen Kaisha,LTD. (THE MITSUBISHI SHIPBUILDING Co.,LTD.) ／1920 年 45p

The Weir Turbine-driven Rotary Feed Pump

KOBE WORKS,MITSUBISHI ZOSEN KAISHA,LTD.

Direct Contact Feed Water Heaters on the "Contraflo" System

Contraflo Condenser & Kinetic Air Pump Co. Ltd.

THE CONTRAFLO KINETIC SYSTEM OF CONDENSING AND AIR PUMP PLANT.

Contraflo Condenser & Kinetic Air Pump Co. Ltd.

THE "CONTRAFLO"SYSTEM

Contraflo Condenser & Kinetic Air Pump Co. Ltd.

THE CONTRAFLO CONDENSER AND KINETIC AIR PUMP CO. LTD.,

THE CONTRAFLO DEAERATOR (Type A)

HIGH-EFFICIENCY CONDENSING PLANTS FORMERINE TURBINE INSTALLATIONS

※重複あり

一部に【印 少イタミ 少書込】あり

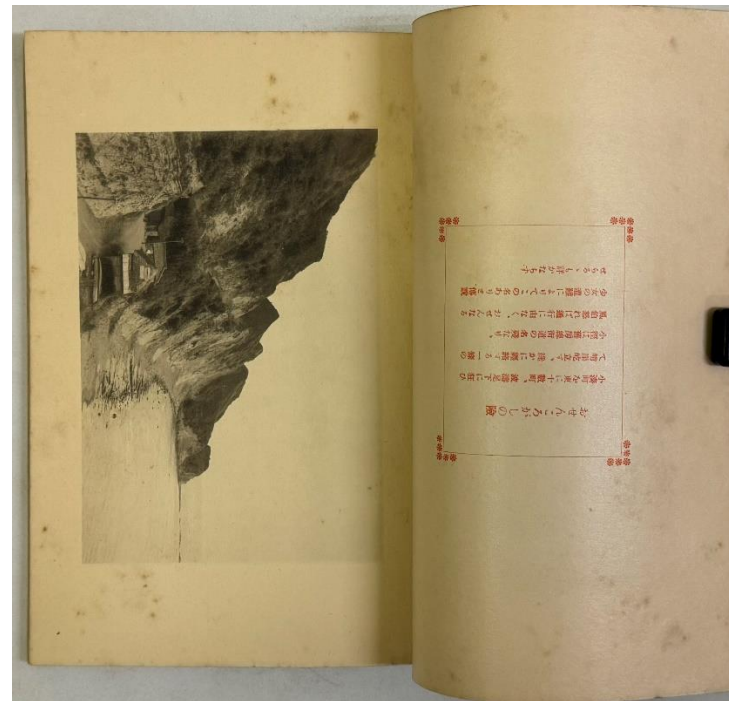
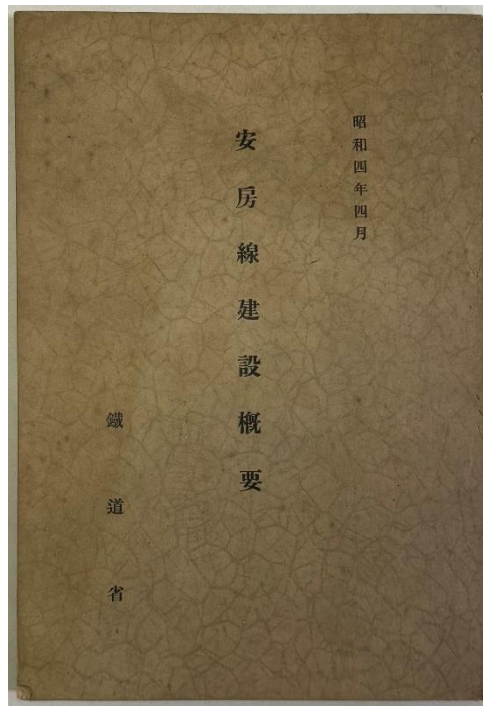
大正期の三菱神戸造船所（後の三菱造船株式会社）による機械・特殊装置類の技術カタログ集。蒸気タービン、ボイラー、ポンプ、発電機、電気装置など、当時の造船・機関工学における主要製品を収録している。第一次世界大戦後、日本の造船業は輸出機械部門を拡大させており、本資料はその初期段階における製品体系を伝える。中でも「WEIR AUXILIARY MACHINERY」や「CONTRAFLO CONDENSER」など、欧米技術の導入・国産化の痕跡が見られ、三菱の技術発展を裏付ける資料。

7] 安房戦建設概要 [昭和4年4月]

Outline of the Construction of the Battleship *Awa-sen* (April 1929)

鉄道省 昭和4年 22.3×15.2cm 【少ヤケ】

¥ 30,000-

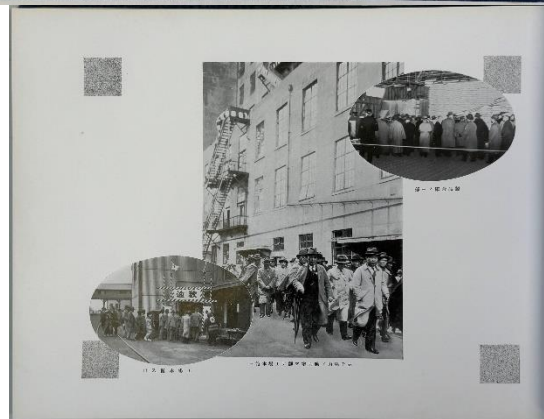
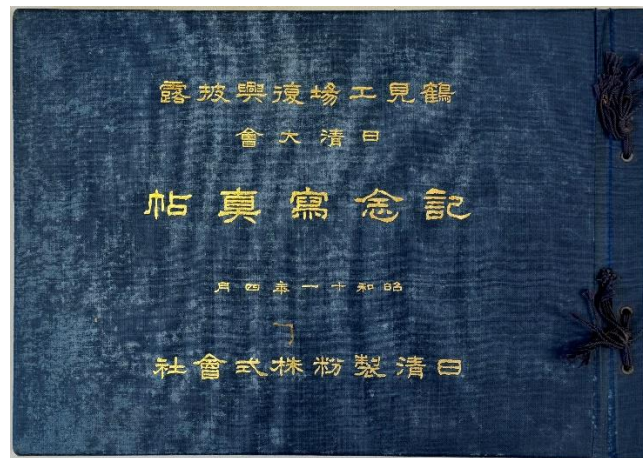


8] 鶴見工場復興披露 日清大会記念写真帖 [昭和11年4月]

Commemorative Photo Album of the Nisshin Seifun Tsurumi Factory Reconstruction Ceremony (April 1936)

日清製粉 昭和11年 27×38cm

¥ 45,000-

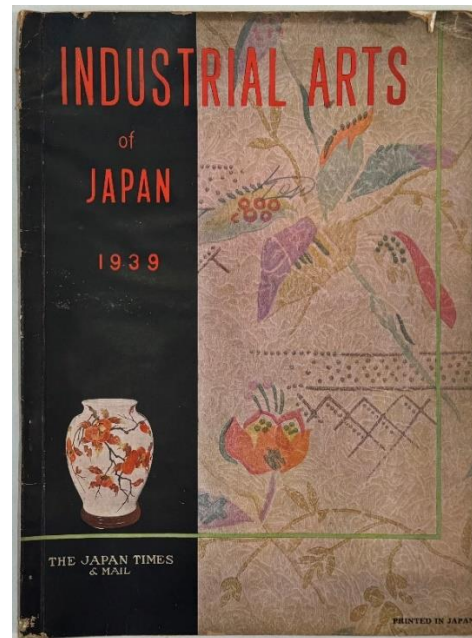


9] INDUSTRIAL ARTS OF JAPAN 1939

[日本の工芸品]

川村彰一 Japan Times & Mail/ジャパン・タイムス社 昭和14年 70p A4 【少イタミ 少ムレ 少シミ】

¥ 30,000-



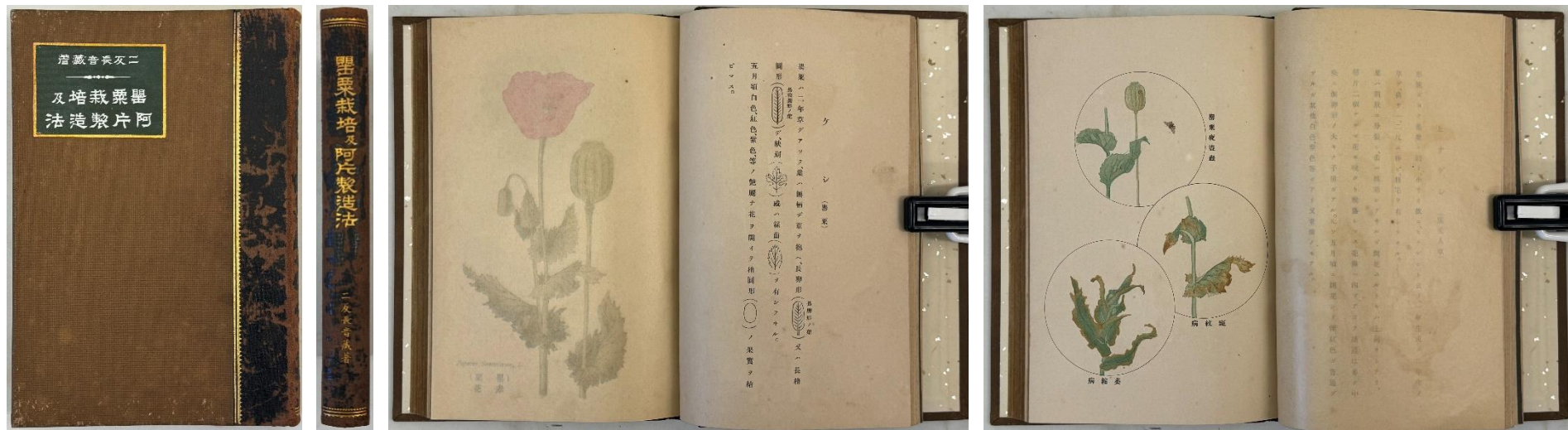
英字新聞 *Japan Times & Mail* による 1939 年刊の英文作品紹介書で、日本の伝統工芸を世界に紹介する目的で編集されたもの。陶磁器、漆器、染織、竹工などを通じて日本美術の国際的理解を促した。本書は、工芸の美的価値を西洋的視点で再構成しつつ、産業としての発展性にも触れる内容となっている。カラー図版や製作工程の写真を交えた編集形式は、戦前期日本が自国文化を海外へ発信しようとした試みを象徴しており、外貨獲得政策と文化外交の文脈にも位置づけられる

10] 罂粟栽培及阿片製造法 [改訂増補]

Poppy Cultivation and Opium Manufacturing Method [Revised and Enlarged Edition]

二反長音蔵 大日本罂粟栽培阿片製造奨励会 大正6年 288p A5 【印 少ヤケ 函欠】

¥ 180,000-



著者の二反長音蔵は、明治末から大正期にかけて阿片・薬用植物に関する研究を行った人物で、本書は国内における罂粟（けし）栽培と阿片精製の実際を体系的にまとめた専門書である。罂粟の品種、生育条件、採取・乾燥工程、阿片の成分分析や製造装置に至るまで詳細に解説し、医薬原料の国産化を目指す政策的意図を背景に刊行された。

1 1] 戦時農園講義録 [第 1 ~ 1 0 輯]

Lecture Notes on Wartime Farming [Series 1-10]

東京都経済局農務課・農務省農政局特産課 東京都宣伝協力会 昭和 19 年 19.8×14.7cm

¥ 30,000-





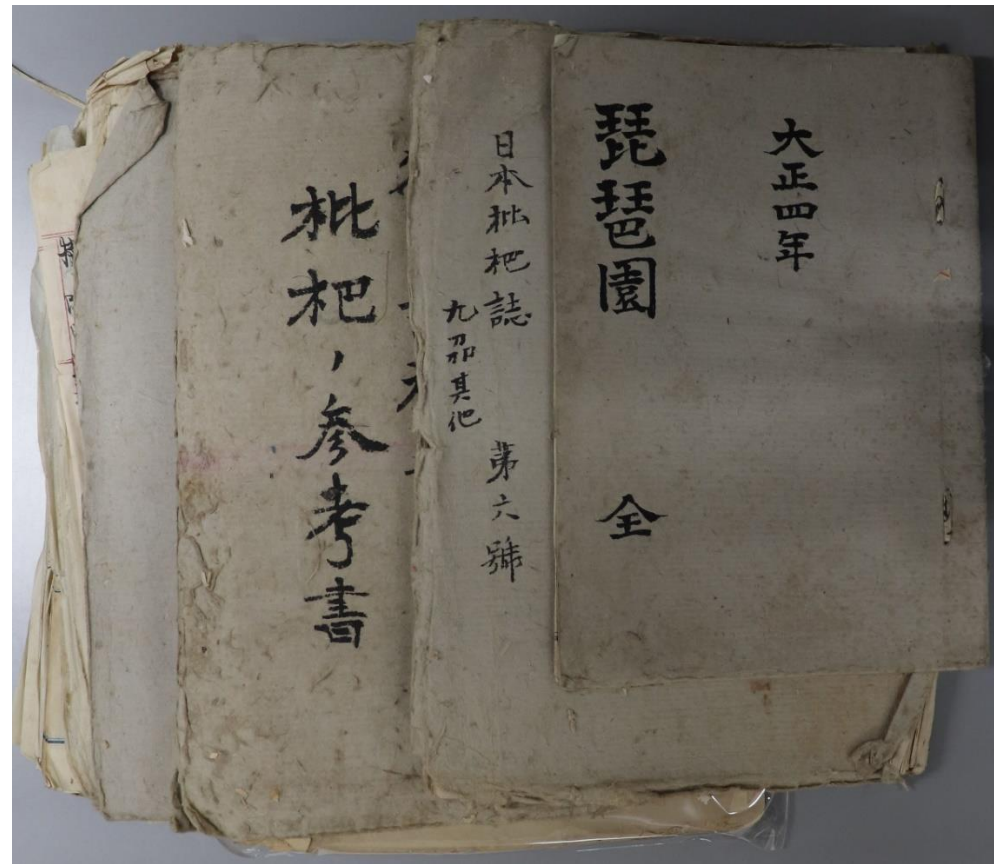
カボチャの作り方・豆類の作り方・インゲンとササゲの作り方・ナスやトマトの作り方／他

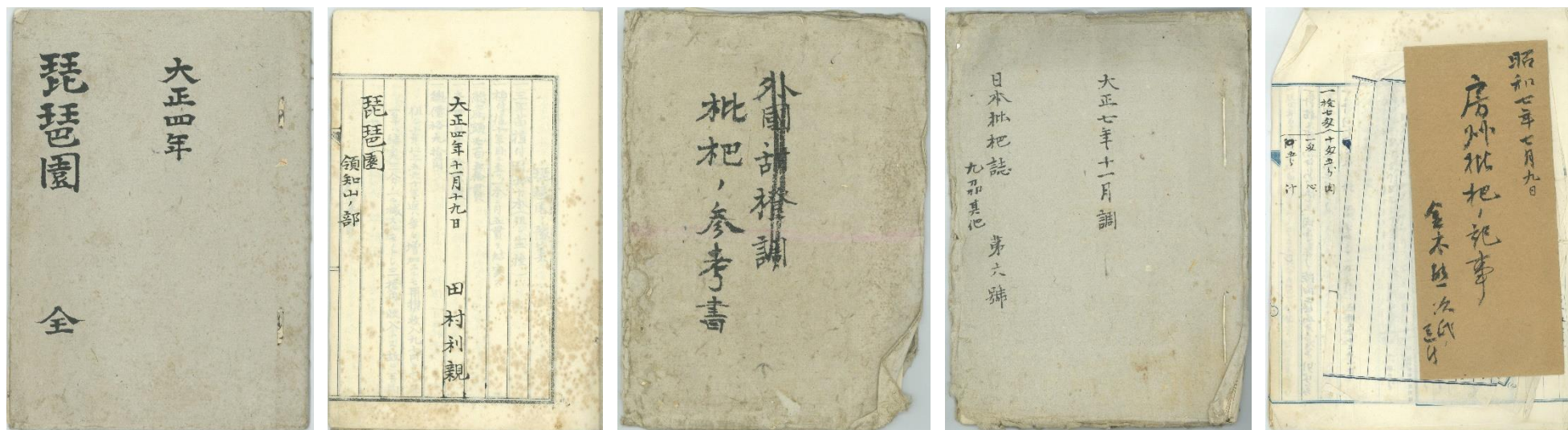
太平洋戦争末期に東京都経済局農務課・農政局特産課によって作成された、一般市民向けの農業講義録全10輯。都市部の食糧不足と配給制度の限界を背景に、各家庭での自給自足を奨励するため編纂された。内容は、かぼちゃ・豆類・インゲン・トマトなどの主要野菜の栽培法を中心に、土壌改良や害虫防除、保存方法などを簡潔に解説している。文体は平易で、実用的な図版も多く、戦時下の「国民農園運動」や「隣組菜園」政策と密接に連動した実践教材であったことがうかがえる。

1 2] 日本枇杷全誌に関する資料・図説・原稿一括

Comprehensive Materials, Illustrations, and Manuscripts Related to “Nihon Biwa Zenshi”
(The Complete Journal of Japanese Loquat Studies)

¥ 50,000-





〔日本の枇杷の品種・栽培・琵琶園など関する様々な資料：明治34年～昭和7年〕

琵琶園 全 大正4年11月19日 田村利親 領知山ノ部

裏面に大正7年の記載がある田中枇杷の写真5枚

日本枇杷誌 9品其他 第6号 大正7年11月調 茂木・大分・米国／他

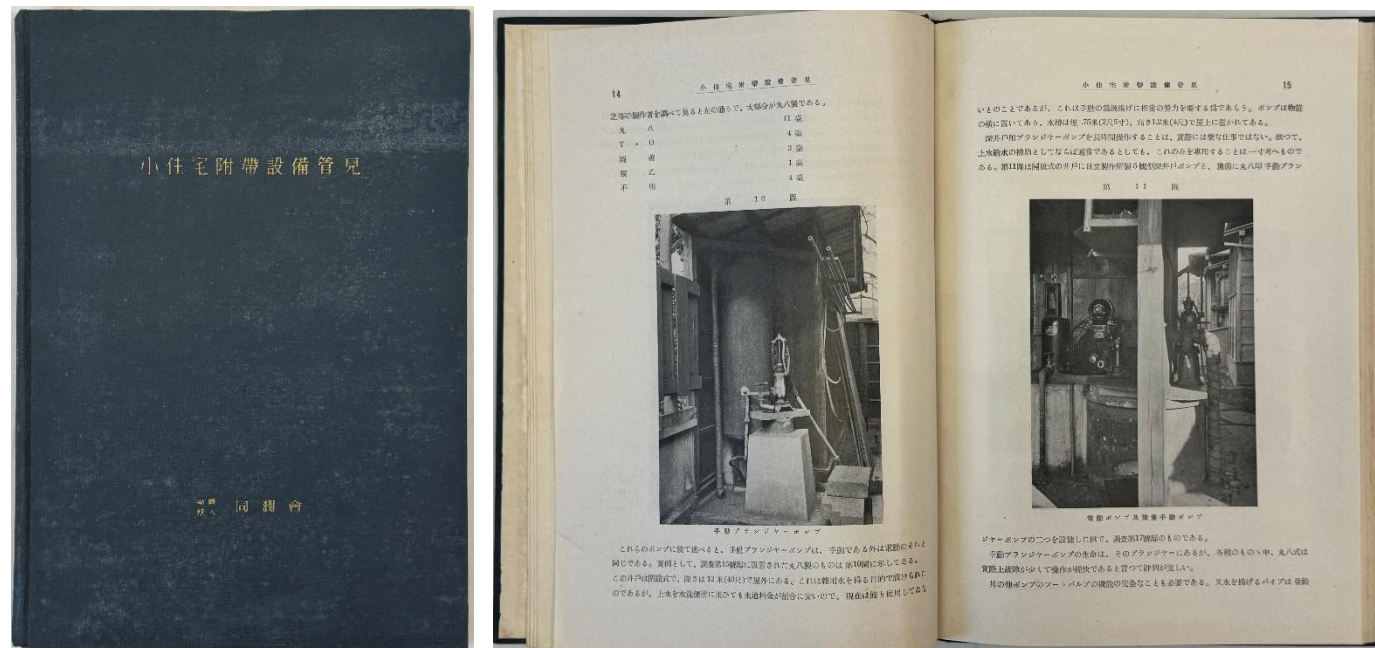
明治末から昭和初期にかけての枇杷（びわ）研究・栽培記録をまとめた一括資料。『日本枇杷誌』『琵琶園全』などの刊行物や、田村利親・田中枇杷園関係の写真資料、各地の品種比較表などが含まれる。国内外（大分・米国産）の枇杷品種が比較・分類されており、園芸史・果樹研究の分野でも資料的価値が高いと思われる。農業技術・気候条件・地域差の観察が伴う点で、近代園芸学成立期の実証的調査の姿勢をうかがわせる。

1 3] 小住宅附帯設備管見

A Study on the Ancillary Facilities of Small Houses

池田譲次 同潤会 昭和 14 年 81p B5 【少ヤケ】

¥ 25,000-



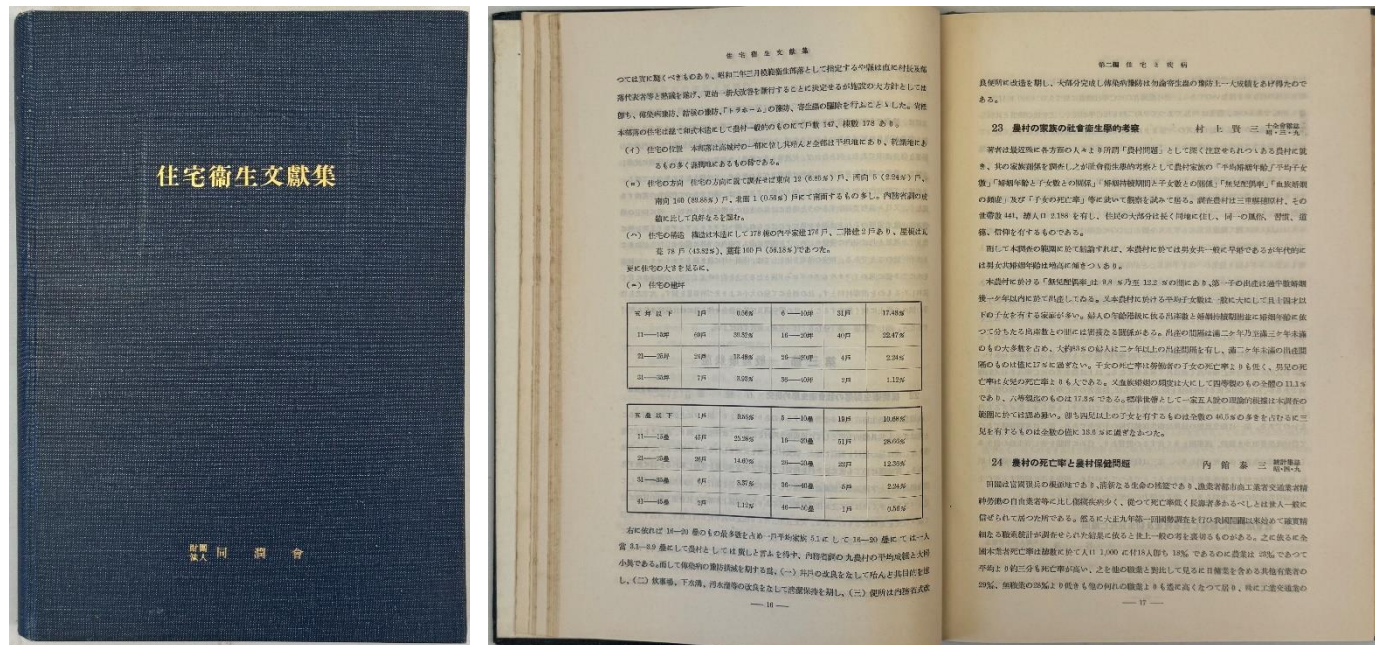
同潤会は関東大震災後の住宅再建を目的に設立された住宅供給機関であり、本書はその活動の一環として、都市小住宅の設備・衛生・利便性を研究した報告書である。給排水、衛生設備、採光・通風、台所・浴室などの設計実例を挙げ、限られた敷地条件の中での効率的な設備計画を探究している。

14] 住宅衛生文献集

Collected Works on Housing Hygiene

大西清治 同潤会 昭和11年 359p B5

¥ 50,000-



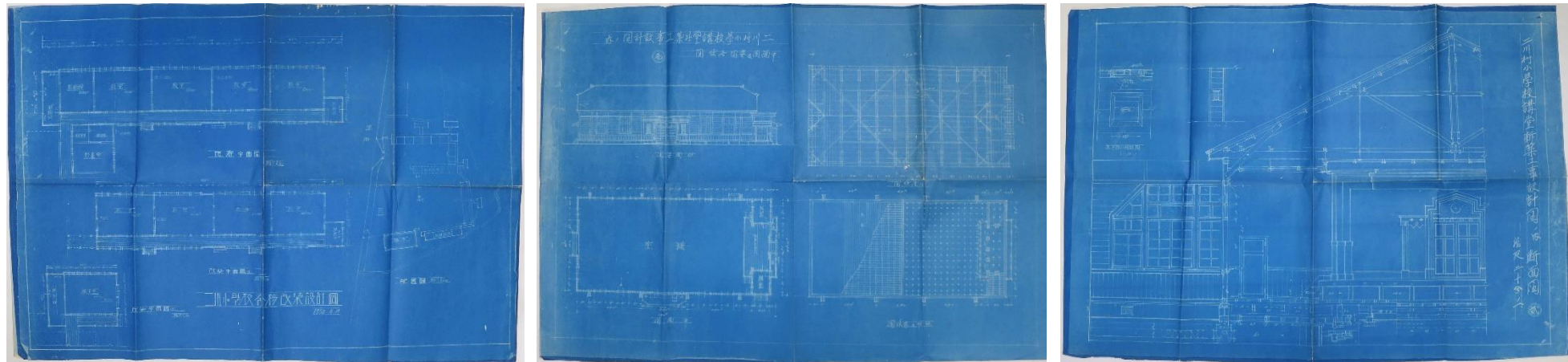
昭和初期の都市住宅政策の中で、衛生工学と住宅設計の融合を目指した同潤会の活動を支える理論的基盤となった。内容は、換気・採光・上下水道・台所・浴室などの環境条件から、感染症予防・生活動線の改善まで多岐にわたる。

1 5] 二川尋常高等小学校校舎移転改築設計図／講堂新築工事設計図

Architectural Drawings for the Relocation and Reconstruction of the Futagawa Elementary School Building
New Auditorium Construction Plans

6枚 昭和9年 55×79.5cm 【青焼】

¥ 50,000-



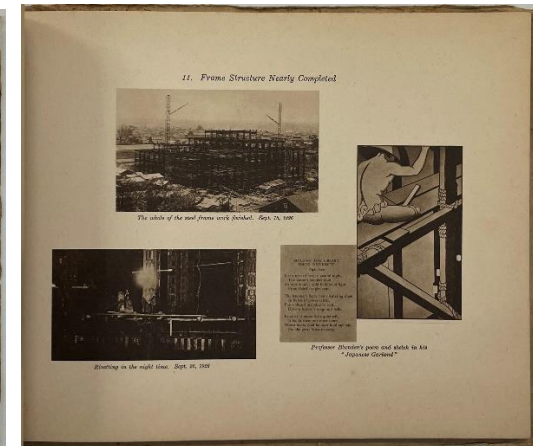
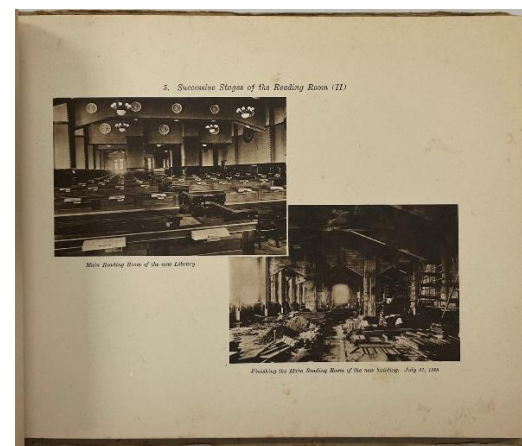
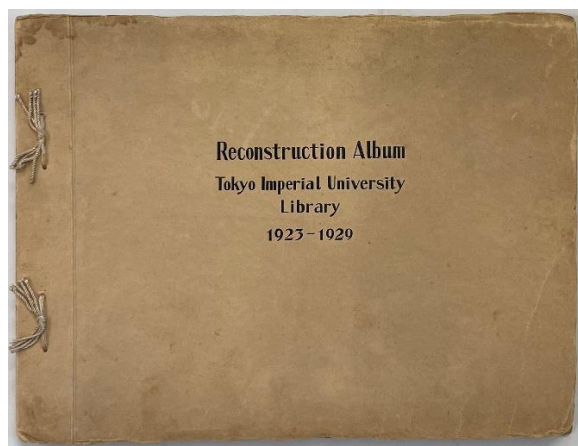
昭和9年作成の二川小学校校舎移転改築および講堂新築工事設計図。平面図・姿図・伏図・断面図・詳細図など6枚から構成される青焼図面群である。二川小学校は愛知県豊橋市二川町に所在し、旧東海道二川宿に隣接する地域の教育施設として明治期に創立。当地は豊橋市の東端に位置し、昭和初期には校舎老朽化に伴う全面改築が行われた。本図面はその際の実施設計資料とみられ、木造平屋建を基調とした近代和風校舎の特徴をよく示している。地方都市における教育施設建築の変遷を知る上でも意義深く、当時の地方自治体による学校建築技術の水準をうかがわせる。

1 6] RECONSTRUCTION ALBUM : CONTAINING THE FINAL REPORT ON THE RECONSTRUCTION OF THE TOKYO IMPERIAL UNIVERSITY LIBRARY 1 9 2 3 - 1 9 2 9

[東京帝国大学再建記念帖]

東京帝国大学 昭和 5 年 23×30.7cm 本文 12p 写真 26 枚 図面 5 枚

¥ 55,000-



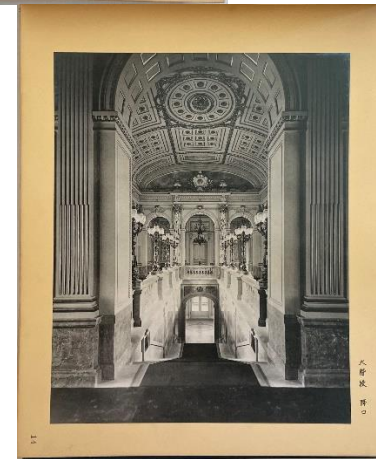
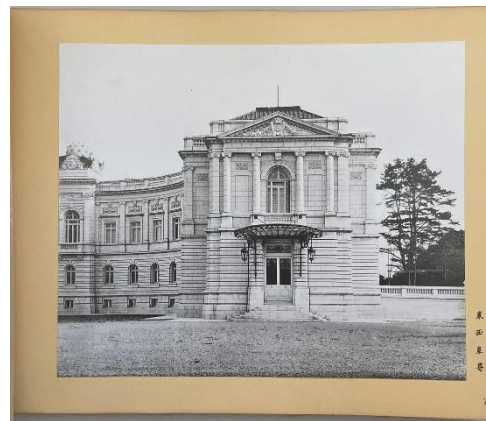
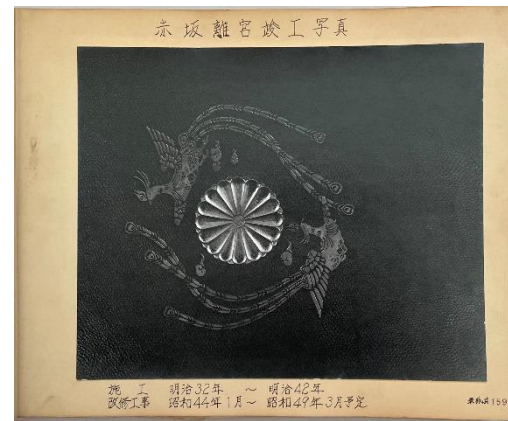
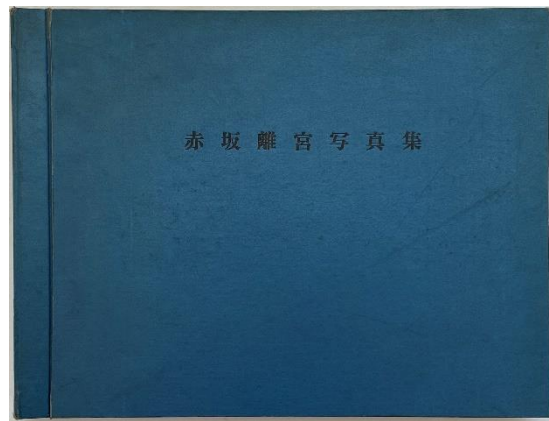
関東大震災で焼失した東京帝国大学附属図書館（現・東京大学総合図書館）の再建事業をまとめた報告アルバム。震災直後から 1929 年の竣工までの復興過程を写真と図面で記録している。設計は内田祥三を中心とする大学営繕課が担当し、鉄筋コンクリート構造・耐震設計・耐火設備を備えた当時最先端の学術施設として再建された。本書は工事経過の記録に加え、再建を象徴する意匠や蔵書整理の様子も掲載しており、学術文化の復興を象徴する資料となっている。

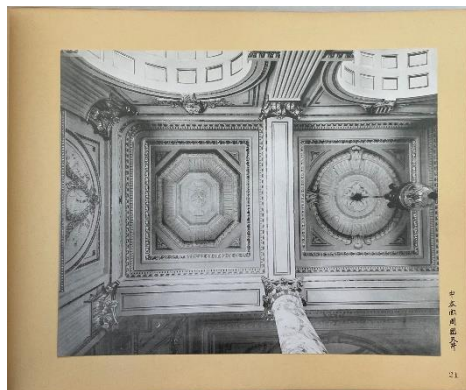
1 7] 赤坂離宮写真集（赤坂離宮竣工写真）

Photographic Album of the Akasaka Imperial Palace (Completion Photographs)

2冊（80枚） 小川一真 30.5×40cm

¥ 160,000-





[東宮御所建築及装飾写真帖（東宮御所写真帖）の一部]

東宮御所写真帖の2巻1-43／2巻44-3巻33の写真（全159枚の中）

改修工事の時に復刻されたであろう写真帖

写真師・小川一真による赤坂離宮（現・迎賓館赤坂離宮）の竣工記録写真帖。1909年竣工当時の建築および装飾を撮影した大型アルバムで、「東宮御所建築及装飾写真帖」全3巻のうち第2・3巻相当部分（全159枚中の計80枚）にあたる。煉瓦造・ネオバロック様式を基調とした宮廷建築の内部意匠を精緻に写し取り、建具・照明・絨毯・調度品まで当時の工芸水準を伝える。のちの改修時に再製された復刻版とみられるが、原板由来の鮮明な印刷技術が保たれており、明治後期の近代宮廷建築と写真記録の到達点を示す写真資料。

1 8] 藤田組関係者写真アルバム

Photo Album of Fujita-gumi Executives and Associated Personnel

2冊（245枚）

¥ 100,000-



藤田組（現・藤田株式会社、旧・藤田組土木部）関係者の活動記録を収めた写真アルバム。内容には、当時副社長であった藤田光彦の元山鉦業出張所視察、工場風景、朝鮮半島各地への訪問記録などが含まれる。藤田組は明治期以来、日本の近代土木事業を担った建設会社で、鉄道・鉦山・港湾・発電所など多様な分野で事業を展開していた。本アルバムは、その海外・外地事業の一端を示す視覚的資料として貴重であり、特に朝鮮における鉦業開発やインフラ整備の実態を具体的に記録している。企業の発展過程だけでなく、植民地経営下における民間企業活動の実像をうかがわせる内容となっている。

19] 木船設計書関連資料一括

Collection of Wooden Ship Design Documents and Related Wartime Materials

¥ 650,000-

笠置鑑進水後建築場之景・笠置鑑進水式執行之景於米国費府



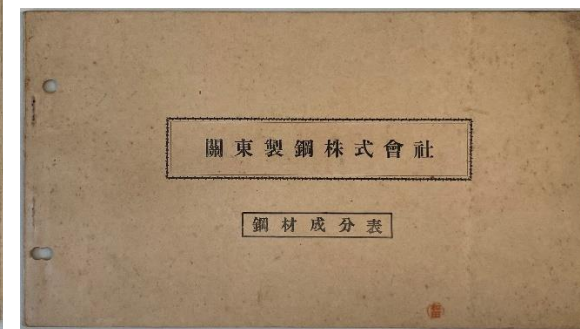
特急品消化計画表 19.11.20

品名	箱数	10月加量	11月予定	12月予定	摘要
銃口寸 2	3,000.00	120,000	100,000	80,000	相違
銃口寸 10	19,000	0	19,000	0	一連
銃口寸 20	5,000	13,000	38,000	0	日野
銃口寸 140	7,000	0	7,000	0	相違
銃口寸 170	20,000	0	20,000	0	相違
銃口寸 28	5,000	0	5,000	0	相違
銃口寸 80	5,000	5,000	0	0	相違
銃口寸 100	10,000	10,000	0	0	相違
銃口寸 200	200,000	58,000	192,000	0	相違
銃口寸 39,000					相違
銃口寸 16,000					相違
合計	617,000	261,000	331,000	80,000	

関東製鋼ファイル（昭和 19 年度）

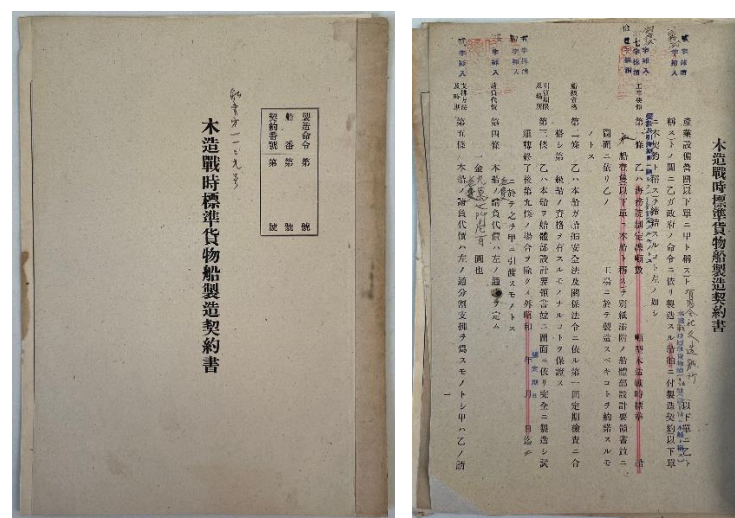
特急品消化計画表・兵器行政本部契約品履行状況調査書・陸軍関係生産計画表・製鋼計画表・関東製鋼鋼材成分表

昭和 19 年度第 3.4 半期特殊鋼出荷数量に関する件指令（写）・陸軍関係内示寸法数量表・陸軍に係る緊急工事明細書

[illegible]

木造戦時標準貨物船製造契約書

船書第1129～1133号

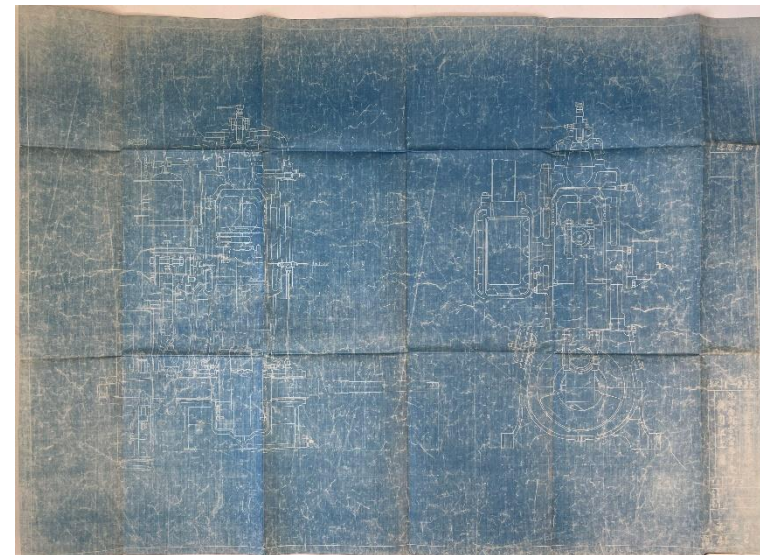
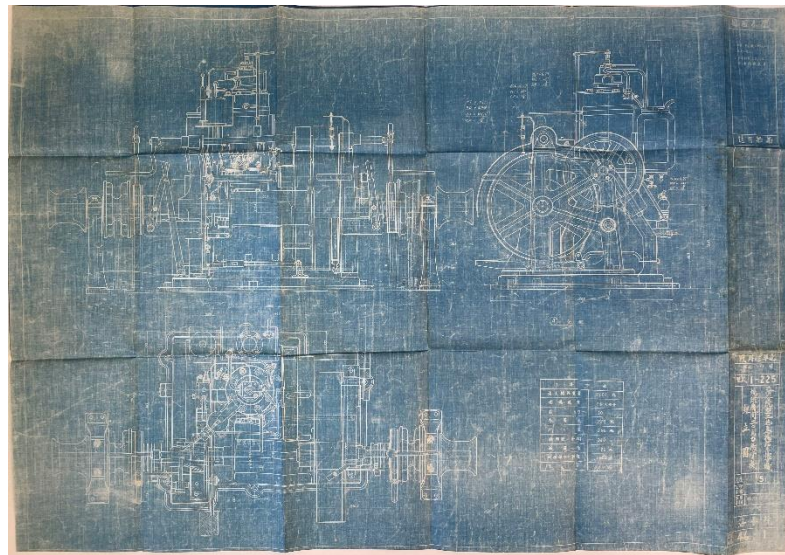
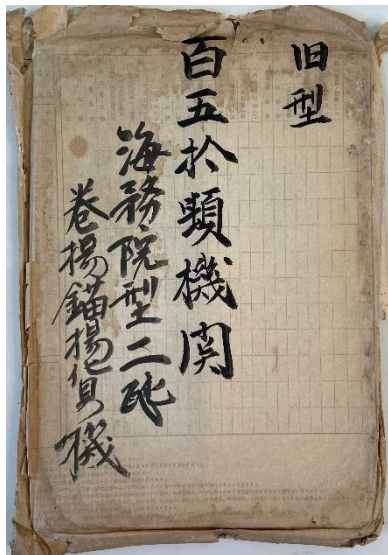


〔旧型〕 150 噸機関 海務院型 2 吨卷上錨揚貸機 製図：昭和 17 年 6 月

焼球機関 20 馬力揚貸機組立図（青焼）縮尺：5 分の一・焼球機関 20 馬力揚貸機機関組立図（青焼）縮尺：3 分の一

焼球機関 20 馬力揚貸機ベット（青焼）縮尺：5 分の一／2 分の一／1 分の一

揚錨機兼揚貸機配置図（青焼）縮尺：50 分の一・（青焼）縮尺：50 分の一

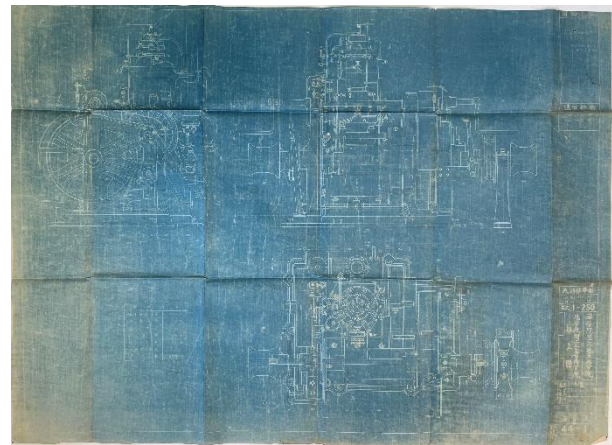
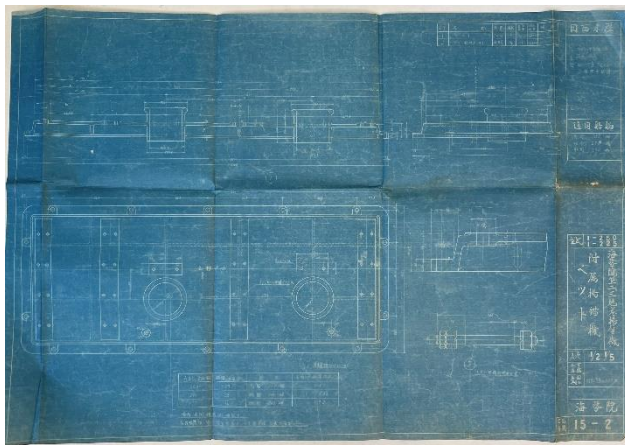
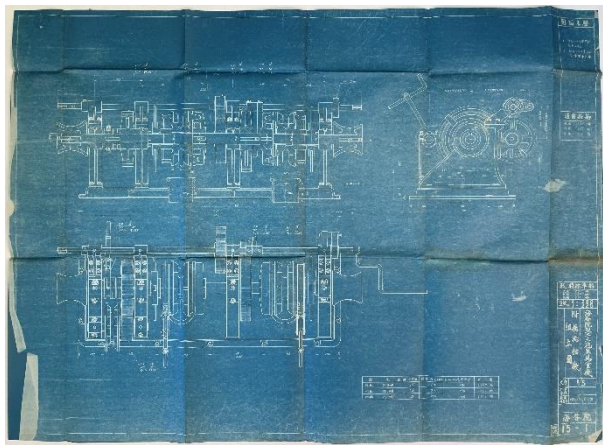
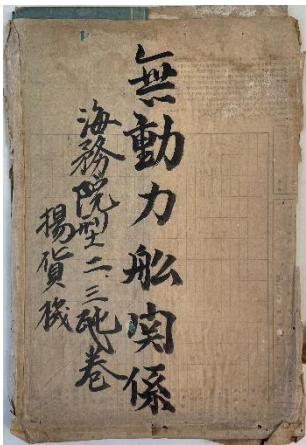


無動力船関係 海務院型 2.3 吨卷揚貸機 製図：昭和 17 年 6～12 月

附属揚錨機組立図（青焼）縮尺：5 分の一・附属揚錨機ベット（青焼）縮尺：2 分の一／5 分の一

焼球機関 25 馬力揚貸機組立図（青焼）縮尺：5 分の一・揚貸機及揚錨機配置図（青焼）縮尺：60 分の一

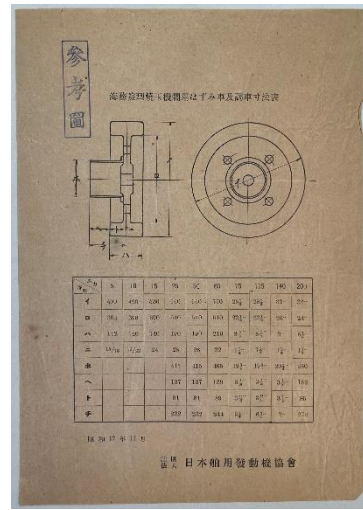
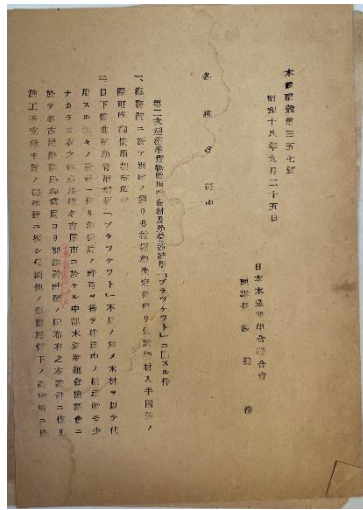
焼球機関 25 馬力揚貸機ベット（青焼）縮尺：5 分の一／2 分の一

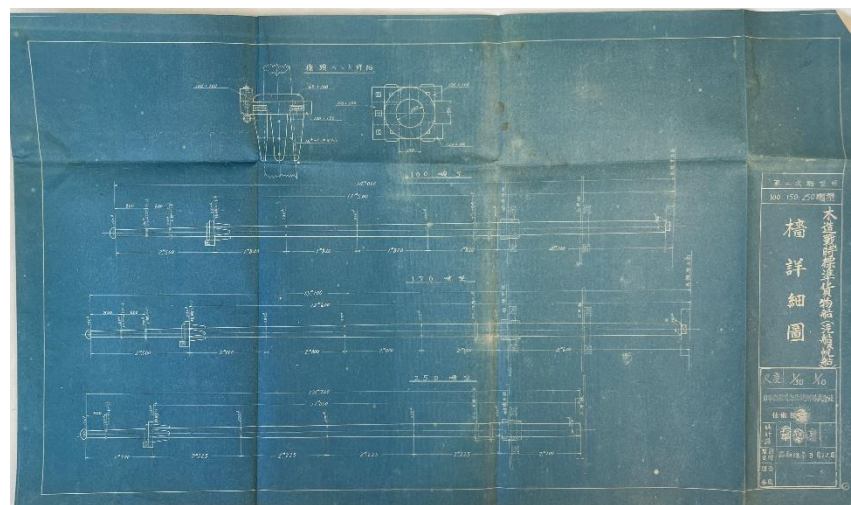
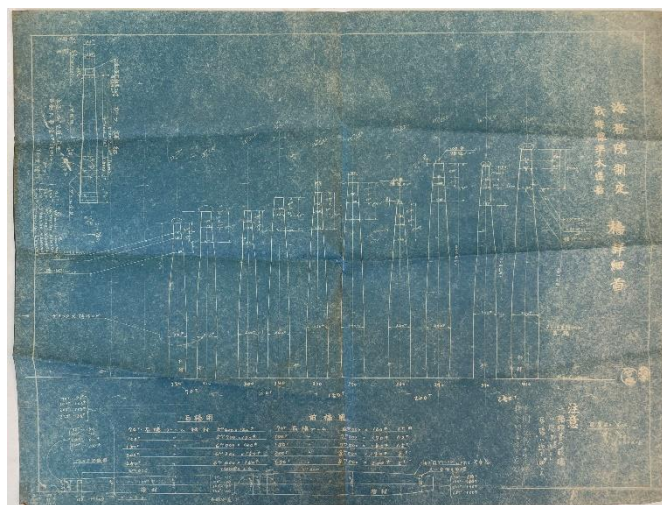


各類型用 檣詳細図 製図：昭和 18 年 8 月

第二次型標準貨物船用梁曲材及肋骨連結用「ブラケット」に関する件・檣詳細図・中央断面図

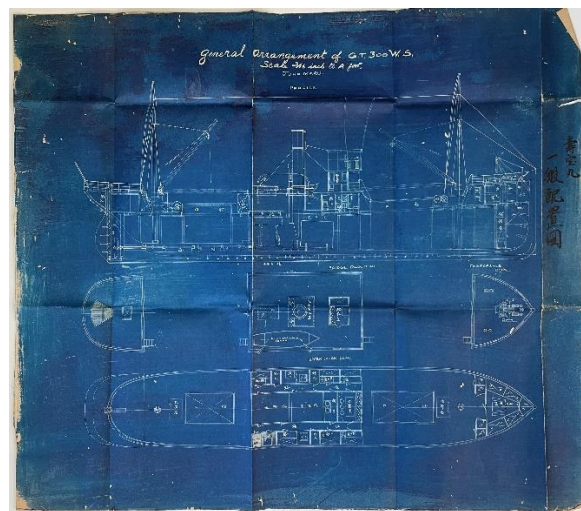
[100.150.250 噸型] 木造戦時標準貨物船（汽船及帆船）檣詳細図（青焼）縮尺：30 分の一／10 分の一





大正7年進水 木造船「寿宝丸」

一般配置図・中央横断面図

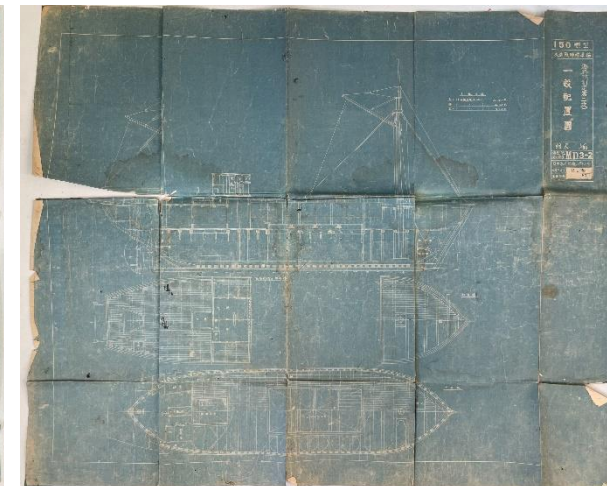
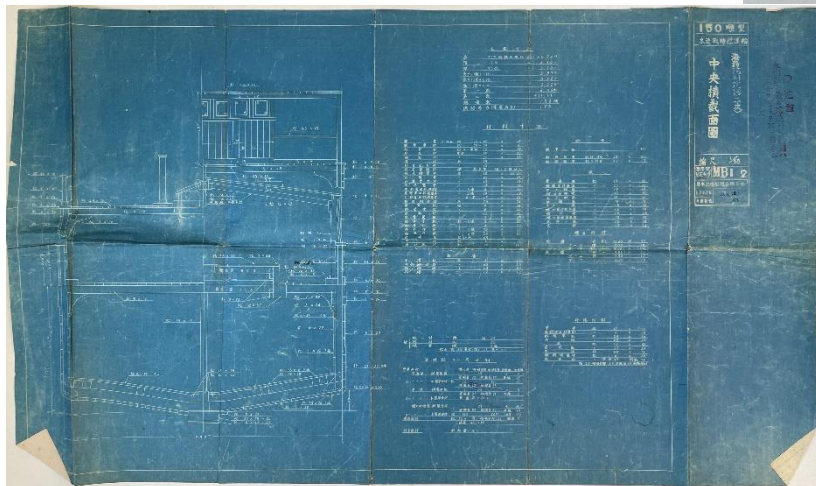
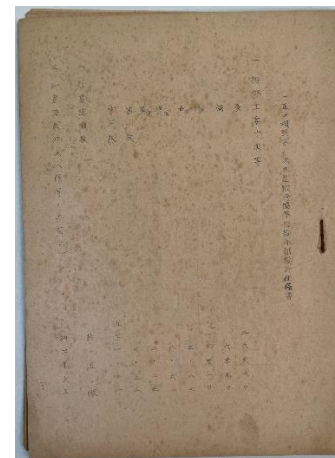
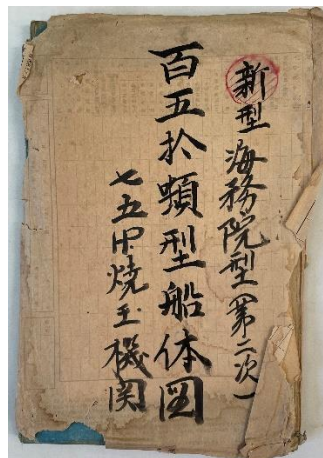


[新型] 海務院型 (第2次) 150 噸型船体図 製図：昭和 18 年 4 月

150 噸型第二次木造戦時標準船船体設計仕様書・中央横截面図 (青焼) 縮尺：50 分の一

中央横截面図 (青焼) 縮尺：20 分の一・線図 (青焼) 縮尺：50 分の一・一般配置図 (青焼) 縮尺：50 分の一

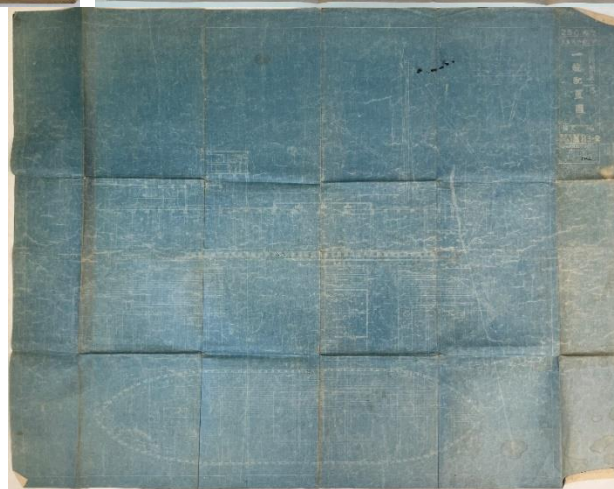
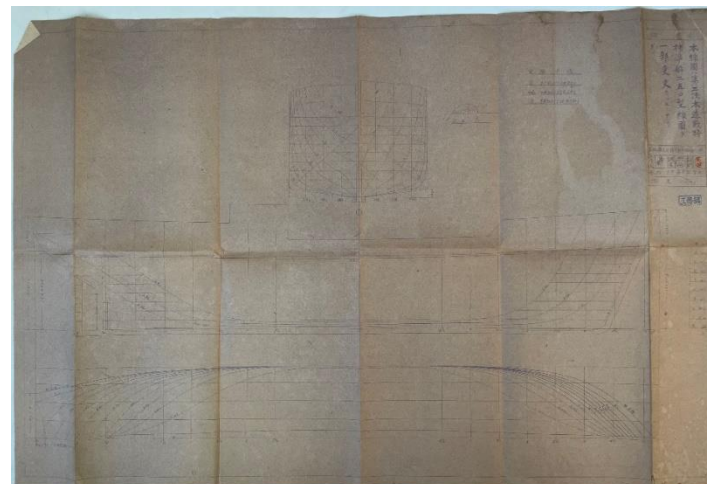
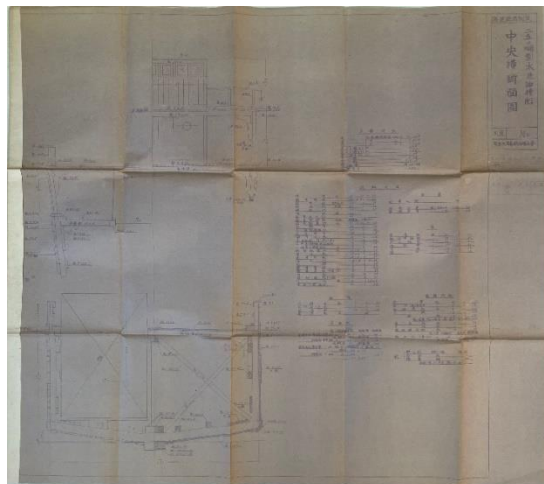
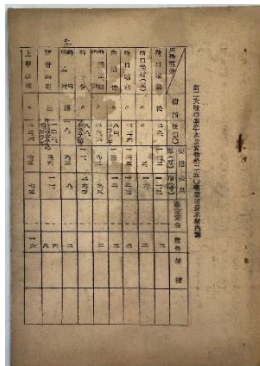
各部詳細図 (青焼)・艀装金物装備図 (青焼) 縮尺：50 分の一



250 噸型

海運総局制定総噸数 250 噸型木造油槽船 船体部設計仕様書（汽船）第二次戦時標準木造貨物船 250 噸型所用木材内訳

250 噸型木造油槽船 中央横断面図 縮尺：50 分の一本線図は第 2 次木造戦時標準船 250 型線図を一部変更せるものなり 縮尺：50 分の一
操舵室（変更図）（青焼）縮尺：50 分の一・排水量等曲線図（青焼）・線図（青焼）縮尺：50 分の一・一般配置図（青焼）縮尺：50 分の一



300 トン積木造被曳船

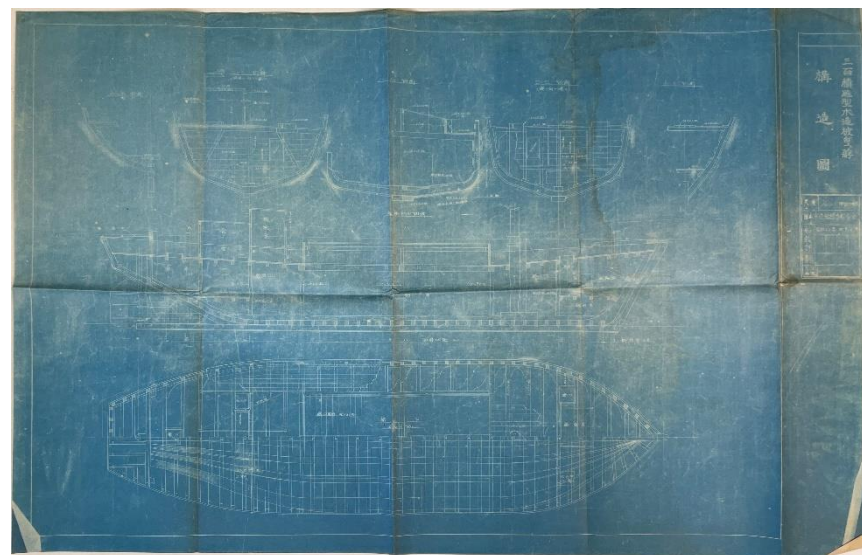
参〇〇積噸被曳船仕様書・各造船所工事負担区分表・300 噸積木造被曳船設計一部変更に関する件

300 噸積木造被曳船の設備標準に関する件・戦時標準型貨物船（無動力）の被曳装置に関する件

船体設計仕様書（海運局制定三〇〇積噸木造被曳船）・中央横截面図（青焼）縮尺：25 分の一

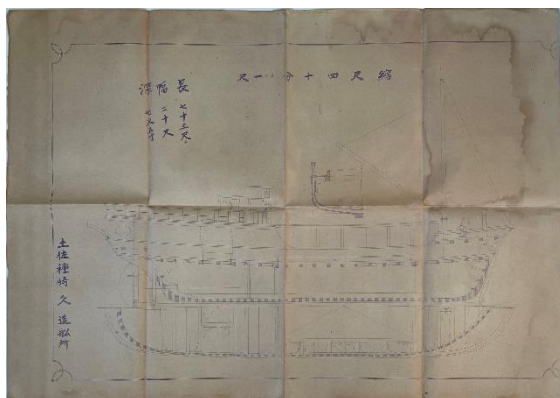
線図（青焼）縮尺：25 分の一・一般配置図（青焼）縮尺：50 分の一・構造図（青焼）縮尺：50 分の一





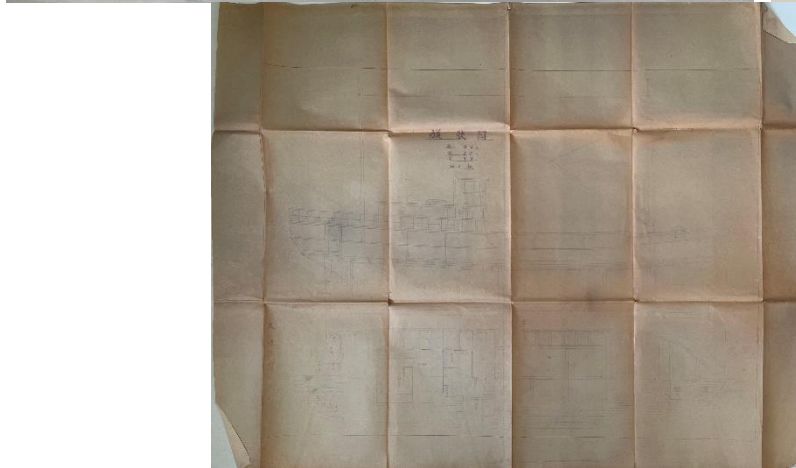
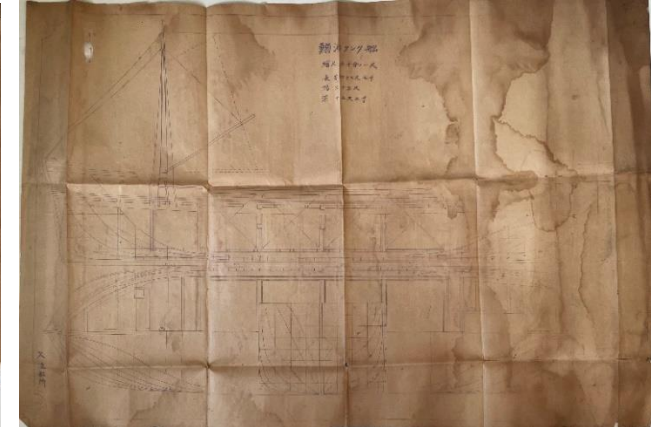
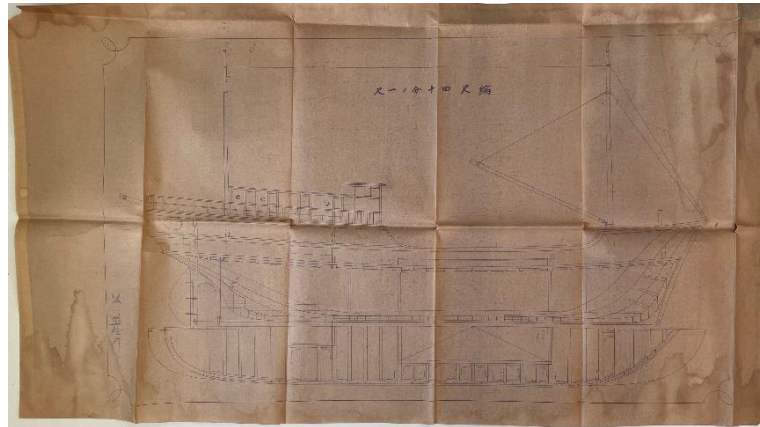
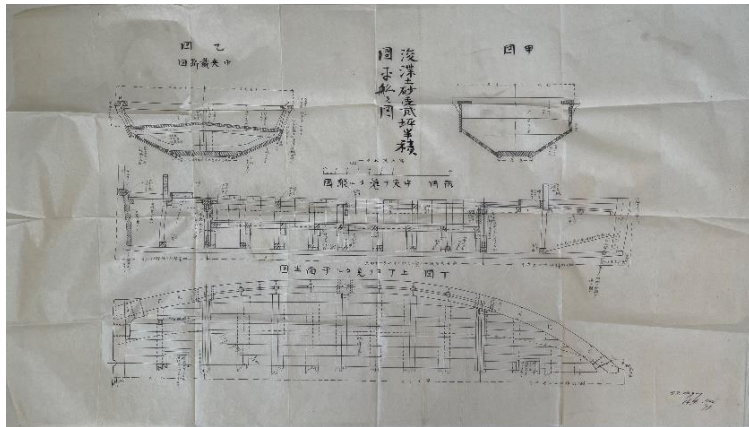
土佐丸（木造船）：久造船所

写真・断面図 縮尺：40 分の一



第 11 東勢丸 [鰯油艀船] (木造船)

写真・断面図 縮尺：50 分の一・横断面図 縮尺：50 分の一・鰯油漕船新造設計仕様書・艀装図 縮尺：40 分の一
線図 縮尺：50 分の一



ソ連向輸出船 50 積噸型船図面（昭和 24 年）

50 積噸型木造船工事仕様書・主要部固著及び船構造（青焼）縮尺：25 分の一

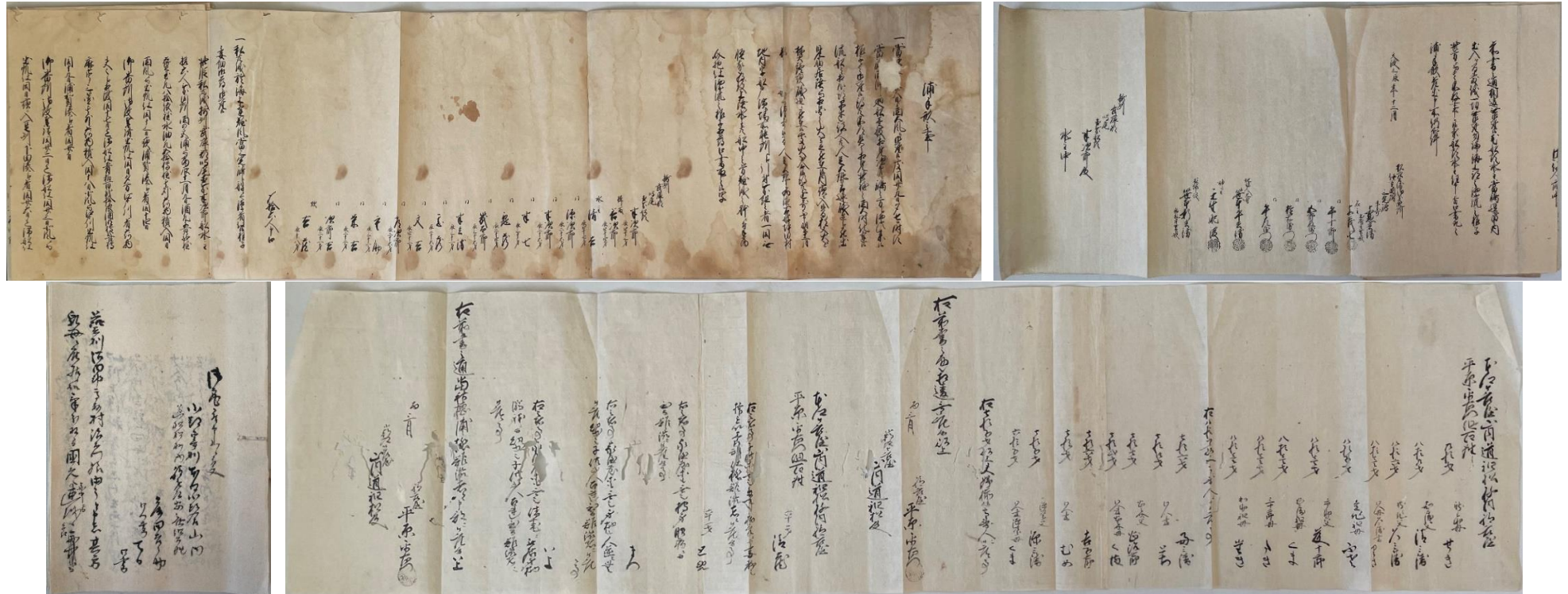
配置及中央横截面図（青焼）縮尺：50 分の一・三階付近詳細（青焼）縮尺：50 分の一・

船尾部構造（青焼）縮尺：25 分の一・船首部構造（青焼）縮尺：25 分の一



その他図面・文書

海務院型焼球機関 200 馬力 船艀装置図（青焼）縮尺：4 分の一



大正末から昭和戦時期にかけての造船および製鋼関連資料をまとめた一括。中心となる木船設計書は、第一次大戦後の船舶需要増大を背景に、日本国内で再評価された木造艦の設計技術を伝えるものである。なかでも「笠置艦進水後建築場之景」「進水式於米国費府」などの写真資料は、日米間で行われた技術協や海外造船技術導入の実態を視覚的に示している。併収される関東製鋼関係の書類群は、昭和 19 年度の兵器行政本部契約・製鋼計画・鋼材成分表などが中心で、戦時体制下における民間製鋼企業の生産・統制の状況を具体的に伝える。木造艦設計と鋼材供給という異なる技術領域が並置されており、造船・軍需・行政が交錯する近代産業史の断面を実証的に示す資料群である

20] 日本鋼管株式会社社員（石黒徳衛）による資料一括

Collection of Materials by Nittetsu Kokan Co., Ltd. Employee (Tokuei Ishiguro)

写真アルバム7冊・ノート3冊・ファイル1冊／他

¥ 100,000-





平炉・造船などに関する資料・直流電動機や工場建設などを写した写真・建築鉄骨工事施工技術問題集／他

日本鋼管株式会社（現・JFE スチール）に勤務していた技術者・石黒徳衛による業務・研究資料をまとめた一括。内容には、平炉・造船などに関する写真アルバムや、直流電動機、工場建設、鉄骨施工技術に関する記録が含まれる。さらに「冶金課報告」「生産技術研究所報告」「新自動電弧溶接方法に就いて（昭和 8）」など、当時の製鋼・溶接技術に関する一次資料が複数揃う。

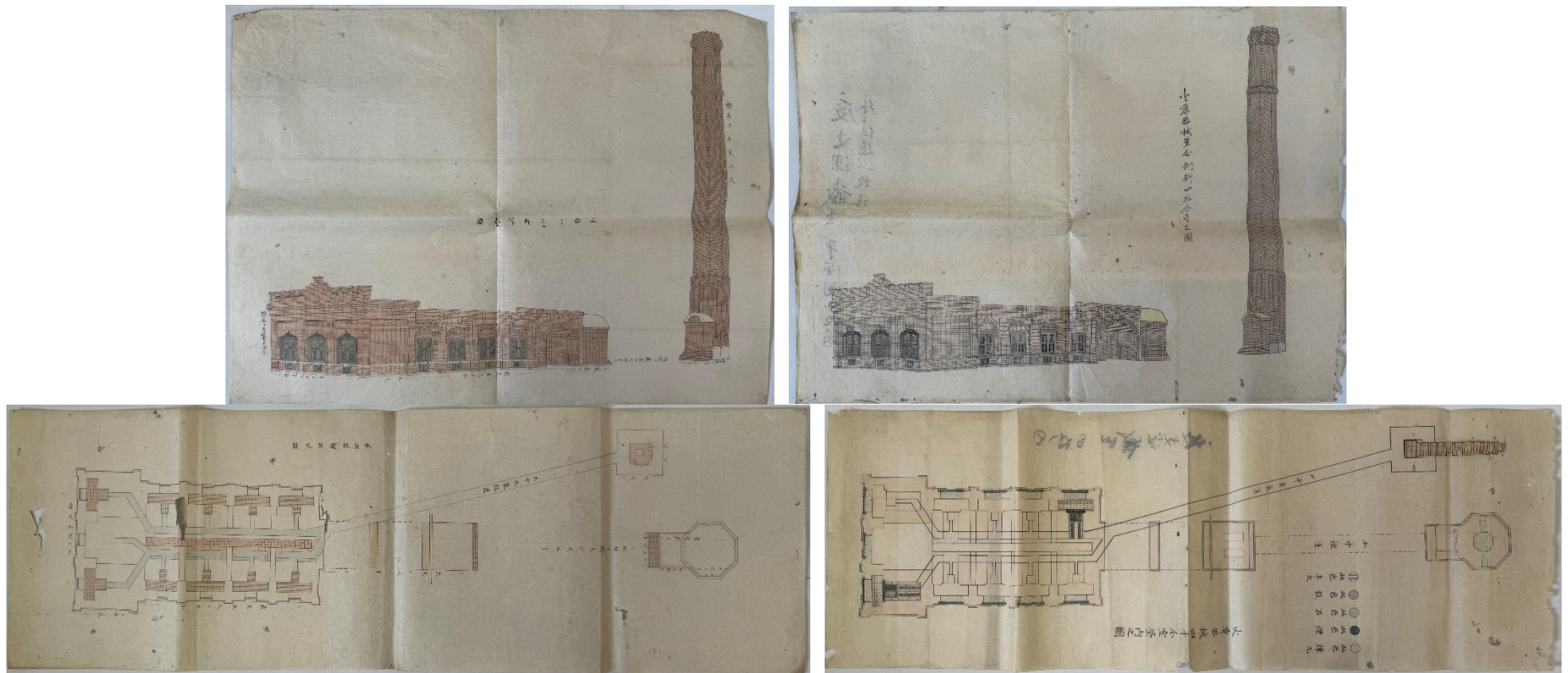
また「燈火管制中に於ける製鋼工場の環境状況の測定」（昭和 15）は戦時下における工場運営の実態を示す稀少な記録であり、戦前から戦後復興期にかけての企業技術者の活動を時系列でたどることができる。民間企業における製鋼・造船・電気溶接技術の変遷を一個人の視点で記録した資料群。

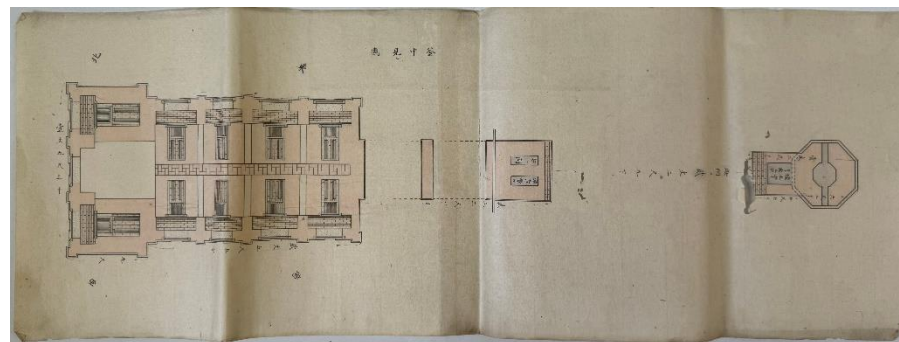
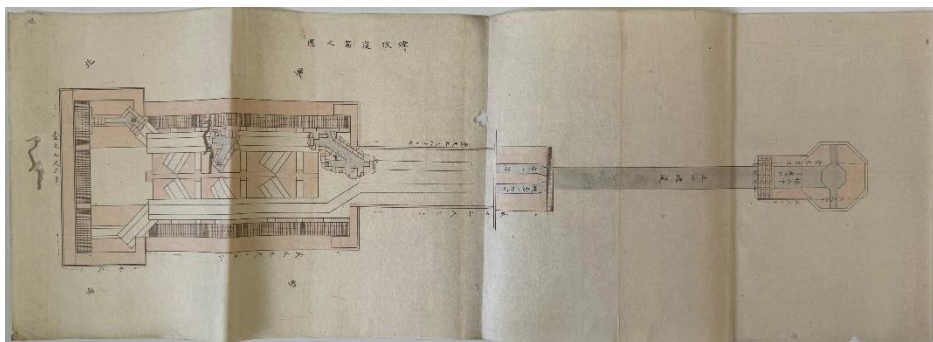
2 1] 火葬器械窯之図

Drawings of a Mechanical Cremation Furnace

6 図 【少虫損】

¥ 50,000-





韓国併合期に作成されたとみられる火葬炉設計図 6 枚組。正面・釜内・水気拔道筋・煙拔道筋など、炉体構造や通風経路の詳細が描かれており、当時の衛生行政および火葬施設技術の水準を知る上で興味深い内容を持つ。裏面に「度支課蔵置」とあることから、朝鮮総督府度支部（財務・土木行政を管轄）の所蔵資料であった可能性が高い。近代化政策の一環として衛生・葬制改革が進められた時期における、行政技術資料の一例として位置づけられる。